

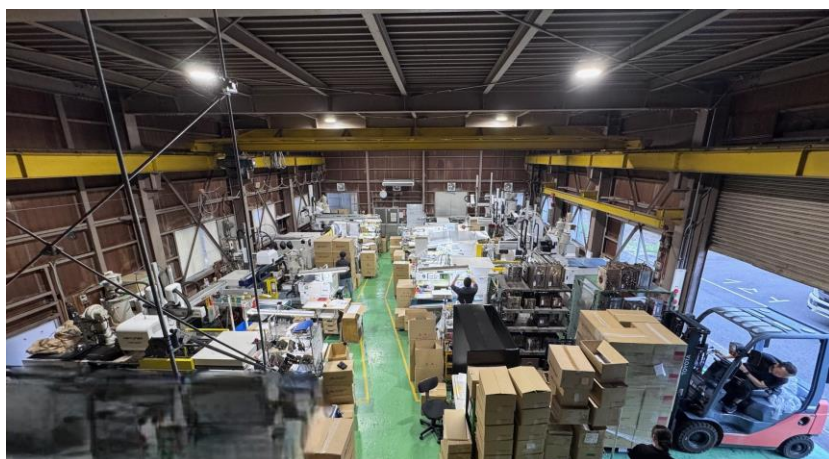
(有)豊和化学(製造業(プラスチック加工)・岐阜市)

柔軟な働き方や個人に寄り添った雇用形態により大手企業と差別化

- ・ 高齢化が進む会社存続の危機から業務の切り出しや超短時間雇用を導入
- ・ 多能工化や業務のマニュアル化などを併せて進め、不在時でもお互いがカバーし合える体制を整備
- ・ 超短時間雇用により障がい者も貴重な戦力として活躍

プラスチック成形などを行う（有）豊和化学の^{そが たかのぶ}曾我壮信取締役は、若者が入社せず、社員が高齢化していく一方、業務マニュアル的なものも整備しておらず、少数のベテラン従業員が属人的に業務を行っている状況に「このままでは会社が存続できない」と危機感を抱いていました。

曾我取締役は2年前から県内の中小企業家同友会の活動に参加し、障害者雇用や新卒採用について学ぶ中で次第に「中小企業こそが働きづらさを抱える方々の受け皿になるべきではないか」と考えるようになりました。



24時間稼働する工場

中小企業だからこそ出来る柔軟な働き方や雇用形態がある



同社の主力製品はプラスチック

人手不足の昨今の状況では、優秀な人材ほど大企業志向が強く、中小企業には目を向けにくい現実があります。一方、中小企業も即戦力を求める傾向が強く、潜在的に「働きたい」と思っている方の事情に目を向けていない場合も少なくありません。

そこで、曾我取締役は「むしろ中小企業だからこそ出来る柔軟な働き方や個人に寄り添った雇用形態といった『大手企業には無い魅力』をしっかりと発信していけば、潜在的に働きたいと思っている人たちが集まってくるのではないか」と確信しました。

超短時間で働ける業務を洗い出し、障がいのある方に依頼

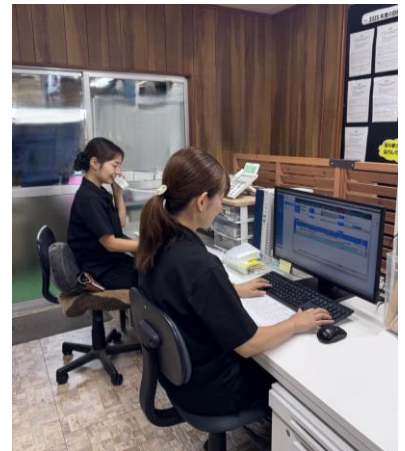
そこで、まずは超短時間で働ける業務を洗い出すことから始めました。そして、その業務を人手が少ない時間帯を中心に、岐阜市超短時間ワーク応援センターに紹介してもらった障がいのある方をお願いすることにしました。

「週1回や1回あたり2時間でも働いてもらえるのは非常にありがたいし、障がいのある方も貴重な戦力になっていて、障がい者を雇っているという感覚はありません」と曾我取締役。

多能工化や業務のマニュアル化を進め、お互いがカバーし合える体制を整備

また、社員が一連の業務を全て行えるような多能工化や属人化していた業務のマニュアル化などを併せて進め、不在時でもお互いがカバーし合える体制を整備しました。

この結果、子育て中の方や障がいのある方など、時間や体力に制約のある方が個々の事情に合わせて柔軟に働き、不在時をカバーし合える体制が整備されました。このことにより、人手不足が解消したほか、業務の切り出しやマニュアル化を進める過程で、社員自らが考え、指示・指導を行う組織に変化していき、会社自体が属人的に動く「町工場」から組織的に動く「会社」へと成長しました。



子育て世代の社員も活躍

短時間の労働力であっても上手に活用できれば人手不足の解消に繋がる

「短時間の労働力であっても上手に活用できれば、人手不足の解消に繋がる。また、フルタイム勤務は難しいが、何らかの形で社会と関わりたいと思っている方の就労の機会にもなる」と曾我取締役は語ります。今後も「働きたい」と思っている人に寄り添い、中小企業だからこそできる柔軟な働き方や、我が社だからこそできる仕事を提供していきたいと考えています。

【従業員の声】

超短時間雇用を始めた当初は戸惑いもありましたが、今は雇用形態の違いを超えて、社員皆がチームの一員として協力して働いています。

【（有）豊和化学】（<https://howakagaku.jp/>）

所在地：岐阜市石谷1421-2

従業員：20名（うち正社員13名、パート4名、短時間雇用2名、障がい者パート1名）

設 立：昭和44年

（令和7年8月末時点）